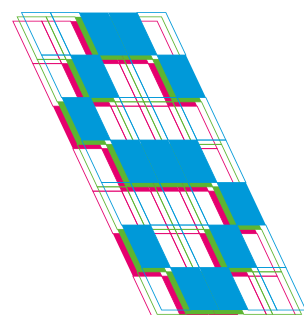
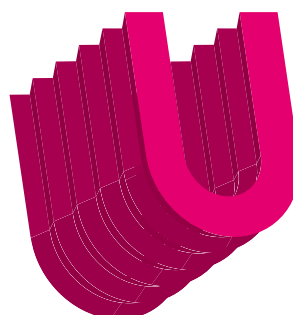
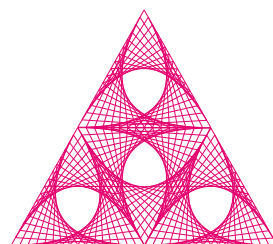
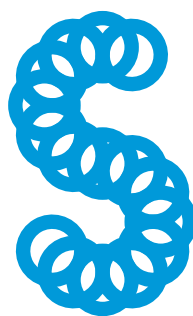
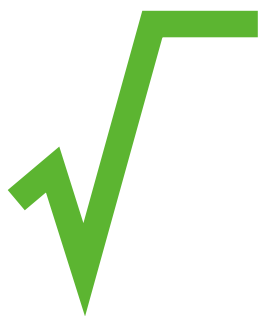
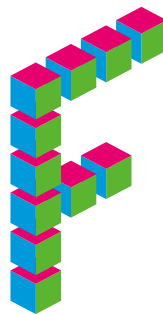
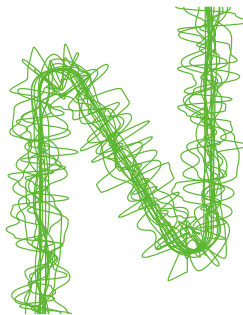
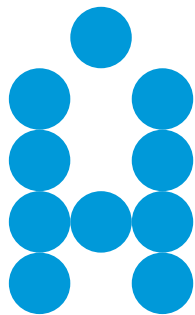
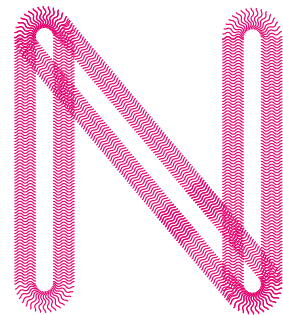
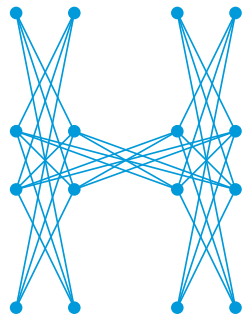


総合政策学部／環境情報学部 2018

慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス



What will you
do to make
tomorrow's
world better?

課題解決のエキスパートになろう

テクノロジー、サイエンス、デザイン、ポリシー。
分野を横断しながら、未来を切り拓く力が体得できる
グローバルなキャンパスが SFC です。

総合政策学部

大きな構想を描き、持続可能な制度設計で問題を解決に導こう。

不確実な未来と、複雑な現代社会。手付かずの領域に挑戦し、新しい状況を洞察しながら最適解を示すには、土台となる技術、制度、組織を理解し、大胆に設計し直す知恵が必要です。21 世紀の問題解決に必要なのは、公共政策だけでなく企業、非営利組織、個人といったさまざまなアクターの協働による解決への「処方箋」。総合政策学部の学生は「実践知」を重視しながら、一つの学問領域だけでは解決困難な問題に取り組む新しい「知」を生み出しています。

政策デザインの分野

変化を続ける政治的・経済的・社会的環境に適応し、私達の毎日をより良いものにしていく手段として政策を広く捉える。政府のみならず、さまざまな主体が参加して政策をデザインする方法と概念を学びます。

社会イノベーションの分野

イノベーションとは、社会のさまざまな要素の新しい結合によって、それまでにない新しい考え方などを生成することです。「社会的な成果」と「経済的な成果」の両面を追求する実践プロセスを学びます。

国際戦略の分野

グローバル（地球）、リージョナル（地域）、ナショナル（国家）など、複眼的な視点から世界を捉え、国際組織、国家、企業、NGO、個人など多様な主体に焦点をあてた国際戦略とガバナンスのあり方を研究します。

経営・組織の分野

さまざまな組織の特徴を捉えつつ、その経営戦略やガバナンスのあり方について学びます。組織がどのように運営されるべきかという視点と共に、我々個人がどう関わるかという視点を重視します。

都市・地域戦略の分野

2030 年の世界目標 SDGs (Sustainable Development Goals) の設定で、都市・地域戦略と、グローバルかつ中長期の視点とが大きく近づきました。パートナーシップに基づいた持続可能な社会の実現方法を研究します。

環境情報学部

最先端の技術と発想で、革新的なソリューションを生み出そう。

1990 年の創設以来、環境情報学部の学生は、グローバル情報社会の発展と課題解決を使命として、一つの学問にとらわれない学際的な研究を行っています。テクノロジー、サイエンス、デザインなどを専門領域としつつ、人間社会に対して数値や性能を超えた具体的な貢献を成し遂げるのが目標。最先端のサイエンスを駆使しながら人文・社会科学と柔軟に融合することで、地球、自然、生命、人間、社会における未解決の問題に対する解決策を創出します。

先端情報システムの分野

コンピュータやネットワークはその存在を主張せず、情報システムは水や空気のように日常に溶け込み、我々の生活をさまざまな形で支援する、そのような先端情報システムを創造し、諸問題に挑みます。

先端領域デザインの分野

21 世紀に求められる新しいデザインやアートについて研究を進めます。デザインに関わる分析、ビジョン構築、作成、評価、マーケティングまで、一連のプロセスをすべて取り組みます。

先端生命科学の分野

SFC では、医・薬・理・工・農・情報・政策を融合した世界最先端の生命科学を展開しています。分野にとらわれず、あらゆる学問を総動員して生命のしくみを解明し、健康・医療・食品・環境分野に貢献します。

環境デザインの分野

建築・都市・地域レベルから地球レベルにわたるスケールの異なる幅広い視野で、持続可能な未来の環境デザインに関する実践的な教育・研究に取り組んでいます。

人間環境科学の分野

人が身体と言葉を駆使しながら、動的に環境・社会と相互作用するプロセスを、個人および社会レベルで考えることで、知の構造・機能の理解を目指すと共に、新たな知の創成に挑戦します。



未来への一步を踏み出そう

SFC は入学者の選考もユニーク。画一的な能力評価とは異なる独自の基準で、多彩な才能が集う研究の場です。未来への道はここから始まります。



Q どんな人が SFC に入学するの？

A SFC では学生を「未来からの留学生」と表現します。今現在ではなく未来の目線で、問題を発見、解決し、未来に向けた新しい価値を生み出す。そんな意欲的な学生が学ぶキャンパスです。総合政策学部と環境情報学部は、どちらも豊かな発想と広い視野から問題を捉えて解決に導く「問題発見解決型」「創造性開発型」の教育を重視しています。文系や理系の区別なく、学問の枠組みを越えて幅広く学ぶことができます。

Q 総合政策学部と環境情報学部のどちらが自分に向いている？

A 総合政策学部は、大きな構想を描いて持続可能な制度設計で問題を解決に導くアプローチ。環境情報学部は、最先端の技術と発想で革新的なソリューションを生み出すアプローチ。それぞれユニークな個性を持つ 2 学部ですが、さまざまな分野を横断しながら課題解決のエキスパートを目指す点では同じです。

クな個性を持つ 2 学部ですが、さまざまな分野を横断しながら課題解決のエキスパートを目指す点では同じです。

Q 一般入試と AO 入試による入学者の内訳はそれぞれどれくらい？

A 総合政策学部・環境情報学部では一般入試と AO 入試（5 方式）を実施しており、全部で 4 種類の入試と塾内進学があります。SFC は日本で初めて AO 入試を採用したキャンパス。これまでも一般入試による学力テストだけでは判定できないさまざまな能力に秀でた学生を受け入れ、さらに大きく成長できる環境を提供して社会に送り出してきました。2017 年度総合政策学部・環境情報学部入学者の内訳は次頁グラフの通りです。

Q 入試ではどんなことが重視されるの？

A 「SFC であなたは何を学びたいのか」が出发点。学部の理念や内容をよく理解

した上で「SFC でこんなことを学びたい」という自分自身の「問題意識」や「テーマ」を持つことが重視されます。入試の形態に関わらず、SFC の教育環境やシステムなどのあらゆるリソースを積極的に活用し「自らの手で未来を拓く力を磨きたい」という意欲が求められます。

Q 一般入試は、なぜこの科目設定なの？

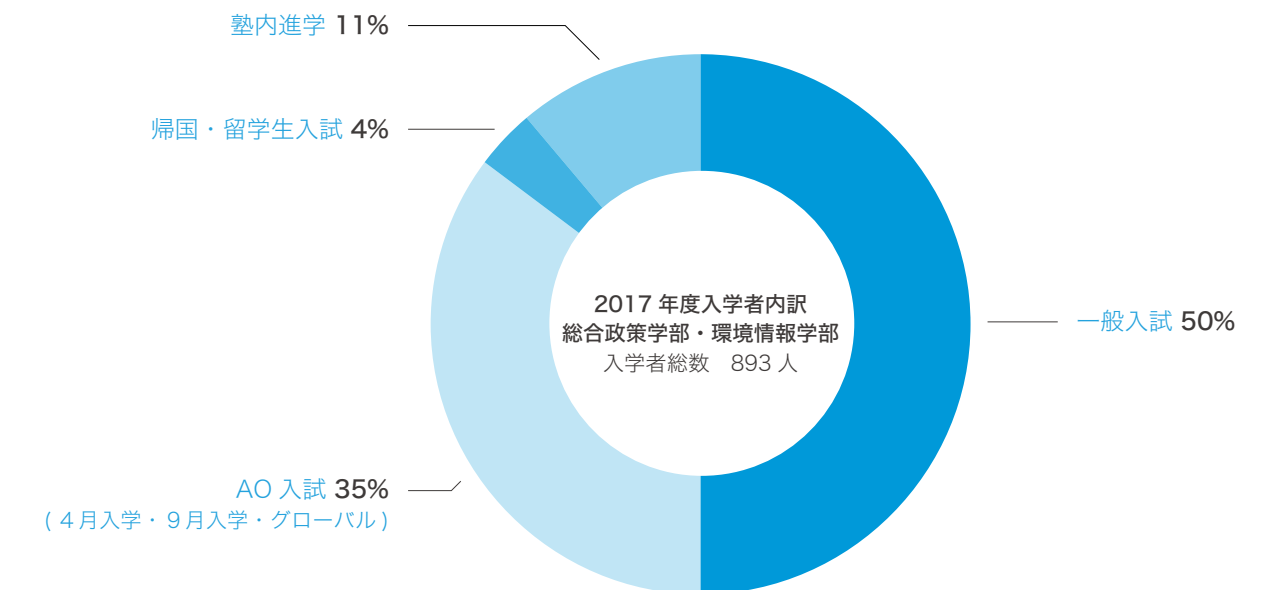
A SFC の一般入試は「小論文」と「数学または情報」あるいは「外国語」あるいは「数学および外国語」の中から選択できます。多様な能力や志向を持った優秀な学生を迎え入れるため、他学部よりも自由度が高くなっています。「外国語」は大学での学びに不可欠であるばかりでなく、多様な文化と出会う驚きや自己の相対化に役立ちます。母国語と外国語の関連を考えることは知的ネットワークを作る作業にも似ており、学問間の理解や専門研究の基本に大きく寄与します。2016 年度より従来の英語に

加え、問題の一部についてドイツ語やフランス語も選択できるようになりました。同様に「数学」も、単に計算だけではなく理論を構築する際の論理的訓練として欠かせない科目です。インターネット社会ではプログラミングやデータ処理の力が必要になり、その前提として数学や数学的思考が役立ちます。2016 年度からは「数学」または「情報」のいずれかを選択できるようになりました。また大学ではレポート、卒業論文、研究論文などに取り組む機会が多くなります。主題や問題を読み取り、分析して、自分の考えや発想を論理的に展開して人を結論へと導く能力を磨くのが「小論文」です。一般入試に関する詳細情報はウェブサイト（www.admissions.keio.ac.jp/exam/ippan.html）をご覧ください。

Q AO 入試って、どんな制度なの？

A AO は「アドミッションズ・オフィス」（入学事務局）の略。

SFC では 1990 年の開設当初から、色々な分野で激しい変化を伴った矛盾の多い予測しにくい先の時代を見据え、AO 入試を日本で初めて導入しました。私達が生きている今、複雑で多様な、グローバルな時代には、新しい「知」を創造する優れた感性や独創性が不可欠です。そこで、SFC では一般入試に加え、AO 入試を実施し、多様な資質を持った学生を受け入れたいと考えました。慶應義塾には教員であれ、学生であれ、優れた者から学び合う伝統があります。AO 入試はそのような知的財産を分け持とうとする伝統をさらに発展させたいという思いも込められています。SFC の AO 入試は、多面的能力の総合評価による入学者選考で、選考は筆記試験ではなく、書類選考と面接です。中学校卒業後から出願に至るまでの期間にわたって獲得した学業ならびに学業以外の諸成果を評価します。アドミッションズ・オフィスは、入学志望者と大学が互いに望ましい「マッチング」を創り出すための出会いとコミュニケーションの場です。



AO 入試

方式	特徴
A 方式 4 月・9 月入学	学業を含めたさまざまな活動に積極的に取り組んだ方。
B 方式 4 月 1 期のみ	学業に熱心に取り組み顕著な成果を上げた方。評定平均値 4.5 以上の方。
C 方式 4 月・9 月入学	指定されたコンテストで所定の成績をおさめ、そのことを証明する書面を提出できる方。1 次選考（書類審査）が免除。
IB 方式 4 月・9 月入学	国際バカロレア資格（International Baccalaureate Diploma）を取得した方もしくは取得見込みの方。
グローバル／Admissions for Overseas Students (GIGA プログラム) 9 月入学のみ	海外の教育制度出身者対象の入試であり、英語で受験する。GIGA プログラム詳細 http://ic.sfc.keio.ac.jp/

QRコード Q&A の内容は、入学試験制度の概要を説明したものです。
各入学試験制度の詳細は、必ず最新の募集要項でご確認ください。
www.admissions.keio.ac.jp

入学前からリアルに体験しよう

イベントで SFC 生のキャンパスライフやユニークな研究を体感してみよう。オンラインでもリアルタイムの SFC に触れられます。



SFC の学びや環境を体感できる「SFC オープンキャンパス 2018」
在学生在リアルな SFC ライフについて教えてくれるコーナーを特設。学生ガイドの案内によるキャンパスツアー、両学部長の講演、模擬授業などのイベントも多彩です。入学後の自分をイメージしながら、SFC を体験してください。SFC オープンキャンパスは事前申し込み制です。6 月上旬よりウェブサイトです。6 月上旬よりウェブサイトです。ご希望の方はウェブサイトからお申し込みください。定員に達し次第、締め切りとなりますのであらかじめご了承ください。
日程：6 月 17 日（日）10:30~15:30

ワークショップで先端研究の世界に飛び込む「SFC 未来構想キャンプ」
SFC ならではの先端研究を体験しながら、ユニークな視点や考え方に触れることができる高校生向けの「キャンプ」（ワークショップ）を開催しています。「キャンプ」に集う仲間達と一緒に、柔

軟な発想でヒラメキや知恵をぶつけ合い、未来につながる「実行力」を体験的に身につけましょう。
未来構想キャンプ（滞在型）の一環として、フォローアッププログラムも実施しています。このプログラムでは、SFC で実際に進行中の教育・研究プロジェクトにインターンとして参加し、約半年にわたって大学教員による指導を受けることができます。
日程：8 月初旬開催予定
場所：湘南藤沢キャンパス

学生のパワーでキャンパスが躍動する「七夕祭」と「秋祭」
学生の企画・運営による夏祭りや学園祭で、SFC 生のエネルギーを体感しましょう。音楽、映像、講演会、模擬店など、楽しいイベントが盛りだくさんです。
七夕祭：7 月 7 日（土）
秋祭：10 月 13 日（土）
場所：湘南藤沢キャンパス

研究の最先端が俯瞰できる「SFC Open Research Forum」(ORF)
SFC の研究の成果を東京都心で一般公開。200 以上のプロジェクトの研究内容を、展示でわかりやすく公開。各界の論客を招いたパネルディスカッションも行われます。ORF の会場は、自分にぴったりの研究分野と出会うヒントの宝庫です。
日程：11 月 22 日（木）・23 日（金・祝）
場所：東京ミッドタウン

※各イベントの日程・場所は予定です。詳細はウェブサイトにてご確認ください。

イベントカレンダー
www.sfc.keio.ac.jp/campuslife/calendar.html

SFC をオンラインで体験



SFC 公式ウェブサイト
<http://www.sfc.keio.ac.jp/>

このパンフレットと連動しながら、SFC の魅力や施設紹介はもちろん、教員や在校生、卒業生の声など豊富なコンテンツを用意しているウェブサイトです。ソーシャルメディアも活用し、受験生や保護者の方に向けた情報発信を積極的に行っています。



YouTube
<https://www.youtube.com/user/sfcpr>

両学部長のメッセージやオープンキャンパスの様子をはじめ、SFC の動画を配信しています。



SFC Faculty Search
http://vu.sfc.keio.ac.jp/faculty_profile/

SFC の多様な教員のプロフィール、専門分野や担当科目を調べたり、キーワードで検索することができます。



SFC プロモーションビデオ
http://www.sfc.keio.ac.jp/about_sfc/video.html

SFC 公式ウェブサイトでは、キャンパスのプロモーションビデオも公開中。SFC の研究や学びの魅力・特色を、実際の授業風景や活動の様子を通してご覧ください。



Twitter
<https://twitter.com/KeioSFC>

SFC 公式 Twitter です。最新の SFC 情報をつぶやいています。在学生向けのアナウンスや、注目のイベントなどのご案内も発信しています。



SFC Global Campus (SFC-GC)
<http://gc.sfc.keio.ac.jp/>

グローバル社会の一員として知識社会の構築に貢献すべく、大学の授業を一般公開するプロジェクトです。総合政策学部、環境情報学部、大学院政策・メディア研究科の教員による 500 以上の授業、5,000 以上の講義ビデオを公開しています。



S-face
<http://sface.sfc.keio.ac.jp>

SFC 研究所では、SFC の研究者を紹介する「S-face」を公開中。ウェブサイト（英語）、動画（英語）、冊子（英語と日本語）の 3 種類のメディアで多角的な発信を続けています。



Facebook
<https://www.facebook.com/keiosfc>

SFC 公式 Facebook ページです。ウェブサイトとは一味違う情報も紹介します。

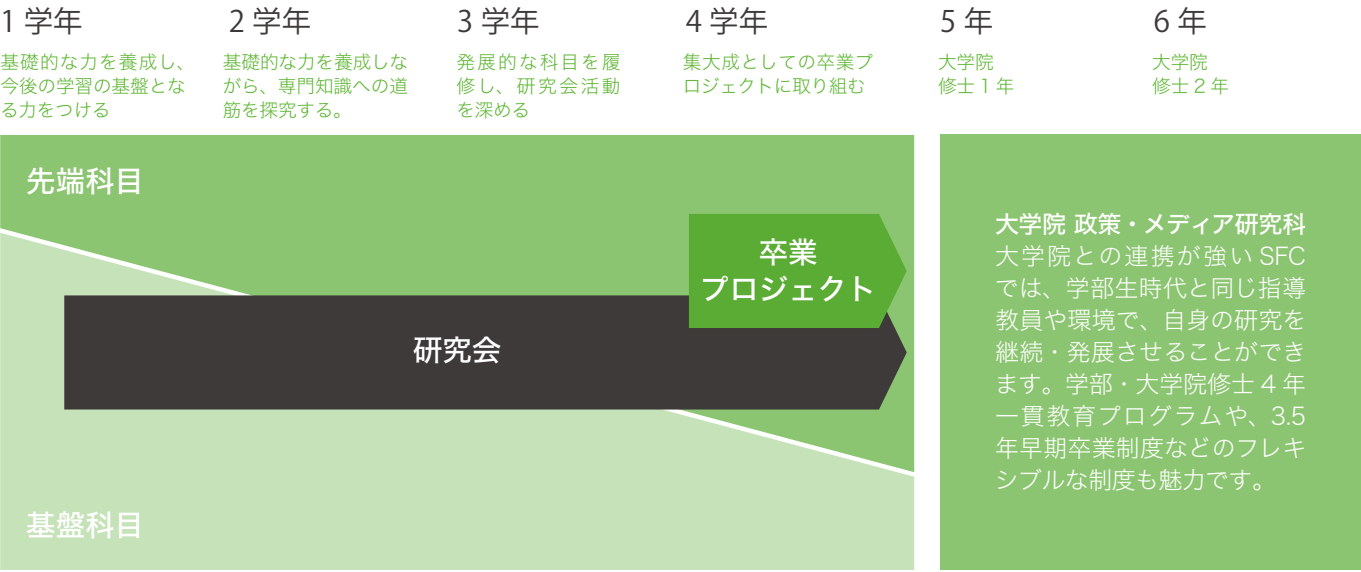


FutureLearn
<https://www.futurelearn.com/partners/keio-university>

英国のトップ大学、大英博物館、大英図書館などと連携し、人文科学から自然科学まで多彩なコースが無料で提供される国際 MOOC 配信事業体（英国）のオンライン教育。日本の大学として初めて参加した慶應義塾大学は、英語による学習者を対象としたコンテンツを配信しています。

専門性を極めながら学際的に学ぶ

1 年次から本格的な研究環境に飛び込めるのが SFC の特長。専門性の高い研究会を軸に、幅広い科目で自分だけの「知のレシピ」を構築しましょう。



4 学期制に対応した柔軟な授業配置
4 学期制と 2 学期制を併用した学事日程に対応し、春学期と秋学期のそれぞれ前半・後半に、短期間に集中して学習に取り組むことができる科目の設置を進めています。留学、フィールドワークなど、オフキャンパスでの活動を広げられる環境を提供します。

学年とは無関係に授業を履修可能
学年に関わらず自分が必要な科目を必要なときに履修できます。入学直後から専門分野に飛び込み、最終学年で異分野を基礎から学び直すことも自由自在です。

未知の先端科目に出合える便利な指標「アспект」
幅広い学術領域にわたって多彩な授業科目が開講される SFC。自分に合った科目を見つけるための指標となるのが「アспект」です。授業科目と研究会の結びつきを研究や授業を構成する諸側面に分解し、これまでは視野に入ってこなかった研究会や科目を発見しやすいように工夫されています。

分野を横断する学びの拡大をサポートする「パースペクティブ」
心・身体・社会の健康を多面的に学ぶ「ヘルスサイエンス (HS)・パースペクティブ」をはじめ、多様な領域への広がりを可視化します。科目を起点にしたアспектに対し、関心領域を起点につながるのある科目を見渡すためのツールです。

インターンシップ・フィールドワーク
SFC ではオフキャンパス・スタディの一環として、留学やフィールドワーク、インターンシップ等、さまざまな学習環境の機会を設けています。その中でも「インターンシップ」は学外での実践的な就業経験を通して研究テーマをより深く掘り下げることができ、自身の将来のキャリアを意識し方向付ける良い機会となります。春季・夏季休業期間中に学生自身が個々の研究テーマに関連した実地調査やフィールドワーク、インターンシップを行い、具体的な成果を上げることを目的とした科目「フィールド研究」も設置されています。

英語でも学べる国際的なキャンパス
GIGA プログラム (p7 参照) の英語による授業も、入試制度に関わらず誰でも履修することができます。要件をみたせば GIGA サティフィケート (p24 参照) の取得を目指すことも可能です。SFC は留学生を含め、入学前に 1 年以上日本国外で過ごした学生が約 4 分の 1 を占める、とても国際的なキャンパスです。

「学部・大学院修士 4 年一貫教育プログラム」
学部の修業年限と同等の 4 年間で、また学部を卒業する費用とほぼ同じ費用で学士・修士の 2 つの学位が取得できます。大学院進学の経済的負担が軽減され、進学の道が広がると共に、短期間に大学院を修了することにより、その後のキャリアも幅が広がります。

知の土台を強化する「基盤科目」

- 総合講座科目

研究を始めるための基盤を構築する総合講座科目は、自分が取り組むテーマを考えるきっかけを提供。幅広い分野の専門知識を掘り下げ、自分の研究テーマを計画的に検討しましょう。
- ウェルネス科目

ゴルフ、ピラティス、気功、フェンシングなど、体育系以外の大学としては異例の幅広さを誇る約 40 種目。SFC では、スポーツを自己開発の重要な一環と位置づけています。
- 情報技術基礎科目

IT を創造的に活用しながら、研究や諸活動を効率化する知識とスキルを習得。インターネットに関する技術や表現を中心に、応用自在なプログラミングの基礎に理解を深めます。
- 言語コミュニケーション科目

英語はもちろん、マレー・インドネシア語、アラビア語、朝鮮語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、日本語を学べます。

すべての SFC 生が学ぶべき「基礎」を培うための基盤科目で、研究会や卒業プロジェクトに必要な言語・思考法・技法等を身につけます。一部の基盤科目は必修・選択必修に指定されており、各自の関心領域に応じた継続的な基盤強化を助けます。

複数領域で専門性が身につく「先端科目」

具体的な調査研究に接近し、研究会や卒業プロジェクトの前提となる先端的な科目を網羅。従来の学問分野による分類がなく、複数領域にまたがった専門性が身につきます。卒業プロジェクトを指導する教員の専門性や調査研究に則した先端科目を見つけましょう。

SFC らしい研究活動の中心は「研究会」

教員と学生がパートナーとなって多種多様な課題に取り組んでいます。問題を発見して解決方法を創出する力をつけ、企業との共同研究や官公庁からの委託研究なども行いながら高度な専門性を身につけます。能力次第で 1 年生から履修することも可能です。

個人の成果を集大成する「卒業プロジェクト」

すべての学生は、研究会を中心とする SFC での学習の成果として、創造性と先端性を駆使した卒業プロジェクトを自ら推進していきます。メンターとの対話でサポートも得ながら、自分だけの研究成果を論文執筆や作品制作によって形にします。

私と研究会

世界や人類の課題を発見し、独自の領域を開拓。
SFCの研究会は、能力次第で1年次から履修可能で、掛け持ちも自由です。
気鋭の教授陣に指導を仰ぎながら、ユニークな研究に取り組む先輩を紹介。



「まったく異なる分野の研究会を掛け持ちできるのはSFCの特長です」

防災とスペイン語、2つの研究が つながった瞬間

進路を絞りきれなかった高校時代。興味の範囲も広く、学際的に学べる大学を探してSFCを選びました。中学卒業の日、生まれ育った福島で東日本大震災を経験しました。しかし高校では互いの出身地などについて尋ねることも憚られていた事情もあり、初めて震災に向き合えた場が防災を専門とする大木聖子研究会でした。研究を始めて、防災も学際的な分野であるということがわかりました。防災とは無関係に、大学で学びたいと思っていたのがスペイン語です。語学だけでなくラテンアメリカ文化も研究しようと藤田護研究会に所属しました。まったく異なる分野の研究会を掛け持

ちできるのはSFCの特長です。スペイン語を磨くため、ペルーのクスコで海外研修に参加しました。現地はちょうど雨季にあたり、大雨で土砂崩れが頻発中。そんな状況の中、クスコ市内の日本語学校から防災に関する講演をして欲しいという依頼が届きました。それまで無関係だと思って学んできた防災とスペイン語が、異国の地で繋がった瞬間でした。講演のコンテンツを考えながら文化の垣根を越えて人々に寄り添うことの大切さを実感しました。

バリーク亜美
環境情報学部3年
安積高等学校（福島県）
新宿高等学校卒（東京都）

所属研究会
大木聖子研究会
藤田護研究会



「SFC は、何を作るのか、なぜ作るのかを考える場所として格好の環境」



迷いながら問いを重ねる 本物の学びの宝庫

受験生時代に目にした過去問で、プロダクトデザインに興味を持ちました。感銘を受けたデザイナーの方が教えていることを知って、SFC を志望しました。最初に入ったインタラクティブデザインの研究会では、自分のスキル不足で挫折。次に入った研究会ではインターネットマーケティングで成果を出しましたが、業務の過酷さから継続を諦めました。学部2年の夏からUIデザインの会社で1年間インターンを経験しました。顧客の要望を無批判に実現するのではなく、一緒に議論しながらものづくりがしたい。そんな問題意識に向き合えたのが、水野大二郎研究会でした。卒業研究として取り組んだのは「契約

のデザイン」。個人情報に関する合意のわかりにくさに疑問を持ち、法律を専門とする学内の先生方にも助言をいただきながら研究を進めました。デザインは美大でも学べますが、SFC は「何を作るのか」「なぜ作るのか」を考える場所として格好の環境。大きな問いの答えが、社会学や哲学から得られる場合もあります。おそらく SFC に入学する8割ぐらいは「迷っている人」。でもやりたいことが多いほど、幅広い学問を行き来して、豊富な知識を得られるチャンスです。入学したら、ぜひ1年次から研究会へ。挫折を乗り越えるプロセスから、大きな学びが得られます。

須佐和希
環境情報学部4年
黒磯高等学校（栃木県）

所属研究会
水野大二郎研究会

1 年超のコンゴ滞在で初めての 国際協力に奮闘

秋保瑞樹
総合政策学部4年
三鷹高等学校（東京都）

所属研究会
長谷部葉子研究会

特定の学問に絞ることを迷っていた自分にとって、さまざまな専門分野の人達が集まる SFC なら何かを見つけられそうな予感がありました。それまで海外旅行もしたことはなく、ただ漠然と「アフリカに行けそうだから」と長谷部葉子研究会に所属。コンゴに小学校を建てて、教育、医療、建築など分野横断型のアプローチをしている活動にも惹かれました。地球の裏側に住んでみたいというワクワクした気持ちも抱くようになりました。長谷部先生にも背中を押され、「トビタテ！留学 JAPAN」5 期生として1年間コンゴで過ごしました。当初は自分が何もできないという現実との格闘。無

力感を打ち消すため、さまざまな人々を「つなぐ」ことに注力しました。1 年後、現場でしか得られない問題意識を携えて帰国しました。研究会ではさらに、経験を理論に落とし込む作業が極めて重要です。このような理論と実践の両輪が、SFC の大きな魅力だと実感しています。医療、教育、建築、写真、グラフィックデザイン、メディア。幅広い背景の人達と一緒に議論すれば、必ず新しい発想が生まれます。信じる道を進めば、どこかで誰かとつながってきます。スティーブ・ジョブズのいう「点と点」がつながるチャンスは、SFC のキャンパスにいくらかでも転がっています。



「理論と実践の両輪が、SFC の大きな魅力だと実感しています」





「障がいを弱みではなく強みに、SFCは自分の努力次第で無限に成長できる場所です」



障がいのあるアスリートだから気づけたこと

聴覚障がいのため、ろう学校に通っていた経験から、聴覚障がい児が健聴児に比べて運動能力で劣っている現実を目の当たりにしてきました。SFCに入学したのは、障がい者スポーツを通して問題解決を図るための研究をしたかったから。現在は、東海林祐子研究会で聴覚障がい児の体力や運動能力の向上を図る運動プログラムを考案しています。慶應義塾大学体育会競走部に所属し、2016年の第3回世界ろう者陸上競技選手権大会では4x400mリレーで日本ろう者新記録を出し、銀メダルを獲得しました。

最終的には、自分が考案した運動プロ

グラムを実施することで障がいのある子ども達に興味を持ってもらい、運動能力を向上させた事例を作り出すのが当面の目標です。障がいを弱みではなく強みに、SFCは自分の努力次第で無限に成長できる場所です。

池田ブライアン雅貴
総合政策学部2年
東京学館新潟高等学校（新潟県）

所属研究会
東海林祐子研究会



複数の研究会で学びながらプロジェクトを推進

埜 佳憲
総合政策学部2年
茨城高等学校（茨城県）

所属研究会
加藤文俊研究会
琴坂将広研究会

高校時代から地域活性に興味があり、関連する研究会を探しました。1年次には鈴木寛研究会に入り、自分の活動について貴重なフィードバックをいただきました。2年次の春からは加藤文俊研究会と琴坂将広研究会に所属しています。複数の違った分野の研究会での学びを生かして、町で遊ぶことをテーマにしたアイデアソン「まちであそん」に取り組んでいます。SFCの先生方は、学生の相談や説明を熱心に聞いてくださいます。このフラットな関係が福澤諭吉先生の「半学半教」の精神なのでしょう。伝統を引き継ぎながら、ほかのキャンパスとはカル

チャーが異なるのもSFCの魅力。気骨のある多彩な人が集まって、誰かが一声上げれば何かが動き出します。研究会の掛け持ちができるのもSFCならではの。コミュニケーションとマーケティングの両方を学ぶことで、両者の違いはもちろん、多くの共通点も見えてきます。

「気骨のある多彩な人が集まって、誰かが一声上げれば何かが動き出します」



今日から一人の研究者

入学した年から、本格的な研究を始められるのが SFC。研究会で専門性を磨き、教員や仲間と未知の領域を開拓しましょう。
2018 年度春学期開講研究会一覧（2018 年 2 月現在）

アイヌ語とアイヌ語の口承文学を学ぶ
アジアにおける環境、防災とコミュニティ開発
アメリカ政治における保守とリベラル
新たな身体性をもたらす経験のデザイン
アントレプレナーシップと経営
医科学・地球環境・食品科学へのシステム生物学の応用（先端生命科学）
意思決定研究とサイバービジネス実践
医療・介護分野の政策・経営
インターネットリサーチ
ウェブアプリケーションプラットフォーム
エコインフラ
エネルギー・デザイン・プログラム
応用バイオテクノロジー（先端生命科学）
応用ワイヤレス研究会
オーラル・ヒストリー ― 「聞く力」で未知を拓く―
音楽神経科学 ～音楽と脳・身体～
外国語教育と想像力
韓国・北朝鮮の政治・経済・社会
機械学習と自然言語処理
機械学習と自然言語処理　～君の句構造をたべたい～
企業経営を評価する――高い視点からの課題解決を目指して
気象学研究会
規範的経済学へのアマルティア・センの貢献
「教育」から取り組むソーシャルトランスフォーメーションのカタチー地域との協働で構築する関係性のサステナビリティ
教育政策の経済学的分析
業績測定と評価
近現代中国研究
近代社会研究
経営研究：優れた経営の実践と普遍的知見の探求から近未来のあるべき経営を探る
計量経済分析
ゲノム生物学（先端生命科学）
ゲノムデザイン（先端生命科学）
言語・社会・アイデンティティー
健康行動科学とヘルスコミュニケーション研究
健康なコミュニティと社会のデザイン
言語と学習の認知科学
言語と思想、言語と芸術
現代アートとコラーンにおける数学
現代中東政治研究
現代東南アジア研究
現代の政治哲学・倫理学（理論と応用）
高速インターネットインフラとアプリケーションの研究開発

『高齢者と共に』を考える
コーチングとライフスキル
国際安全保障とグローバルガバナンス
国際経済学を学ぶ
国際貿易体制の変容ーメガ FTAs（TPP、日 EUFTA、TTIP、RCEP）と WTO
国際マクロ経済研究会
子どもの精神発達を考える
コピーとオリジナリティ
サイコスペースプロジェクト
サイコスペースプロジェクト 2
財務会計の考え方と実践
システム生物学入門（先端生命科学）
持続可能な未来：SDGs と東京 2020
疾患診断支援システム（先端生命科学）
シミュレーションとヴィジュアルイゼーション - 芸術と科学の接点として
社会課題解決型の人工知能（AI）イノベーション
社会言語学（5）
小説執筆
情報社会におけるソーシャル・プロデュース
情報法研究会
商用批評研究
新書で学ぶ現代日本の諸問題
身体運動の神経科学　～脳と身体をひとつの"システム"として捉える～
身体を考え、知をデザインする生活
スポーツ工学：工学的アプローチによるスポーツスキルの分析とアスリート支援
スポーツパフォーマンス
スポーツビジネス
スポーツビジネスⅡ
スマートモビリティ～セルフドライビングカーを創ろう～
スマートモビリティ～セルフドライビングカーを学ぼう～
政治哲学・倫理学（基礎）
全世界インタフェースデザイン
ソーシャルイノベーション：ソーシャルマーケティングと価値共創
ソーシャルクラウドロボティクス　ーヒトと駆け引きをするモノたちの未来ー
ソーシャルセクターの未来
第二言語習得研究，異文化間コミュニケーションと外国語教育
地域研究とアカデミック・ディシプリンの対話と融合の模索
地域における効果的なプラットフォーム設計
地上学への研究
< 地方発 > の政策イノベーション

中国社会研究
中国文化（伝統劇・映画・古典小説）の探求
朝鮮の文化・社会
データドリブンによるスマート都市・地域の構築
デザインとジオメトリー
統治機構研究（日本社会・文化を含む）
東南アジア共生プロジェクト
日本・アジアにおける企業経営
日本語と多言語多文化共生社会（研究）
日本語と多言語多文化共生社会（実践）
日本政治外交研究（JPD）ベーシック&アドバンストー日本政治外交をよみやぶる
ネットワーク運用と実空間インターネット
脳情報の計測と解析
パースペクティブ 2050　ー金融、商業、交通、都市の4つの世界史を手掛かりに
場所の未来ーつながりの科学（1）
場所の未来ーつながりの科学（2）
場のチカラ プロジェクト（まちに還すコミュニケーション）
微生物ゲノム学（先端生命科学）　環境バイオインフォマティクス（先端生命科学）
ヒューマンパフォーマンス
フォレスト・サイエンス・アンド・エンジニアリング
複雑系と自然計算
分散型のストレージシステムとネットワークアーキテクチャー
ヘルスケアシステムデザイン
ヘルスサイエンス（健康科学）
防災社会デザイン研究会
法律の解釈論を「書く」
法律の解釈論を「読む」
香港映画の魅力（1）
マーケティング・コミュニケーション / 科学技術コミュニケーション
街・人・メディア
マルチメディアデータベース・人工知能と感性データベースに関する研究
マルチメディアデータベースシステムとデータマイニングの研究
「自ら介入するデザイン・アクション」
水俣学
「南」からの思考（スペイン語圏の言語と社会の研究）
未病ヘルスデザイン 1
未病ヘルスデザイン 2
メンタルヘルスについて考える
ものづくり技術（IoT and AI）の基礎と応用

「ゆだねない社会」をめざして　ー　第三領域論の視座から考える「新しい公共」
ヨーロッパ国際関係と国際安全保障
ランドスケープ研究
リスク分析：政策と日常生活
量子計算機と量子ネットワーク
臨床と教育
労働政策：誰もが能力を発揮して豊かな人生を送ることができる職場環境について考える
Algorism　ー建築の計算（不）可能性
American Foreign Policy and World Politics
Business Management in IT Era
CompMusic: Comparative and computational musicology（1）
CompMusic: Comparative and computational musicology（2）
Design and the Speculative Mind
E-Cell プロジェクト（先端生命科学）
Gesellschaft in deutschsprachigen Ländern
International Macroeconomic Seminar
Japan Diversity Project
Linked Hyper Card を作るう
Management studies as a field of social science
Natural & Creative Living Lab - 未来をつくる言葉をつくる [教育 / コミュニティ / 自然 / これからの創造的な生き方 / 海外との連携]
Natural & Creative Living Lab (GI&A) - Global Collaboration to Empower People with Creative Languages
Projects on Digital Economy and Society
PSYCHOLOGIE
RNA 機能解析（先端生命科学）
SBC 合同研究
Second Language Teaching
Socio-Informatics - 情報科学の活用による社会イノベーション -
Teaching Japan Project
Touch Lab 1: Touch Fab
Touch Lab 2: Touch Science
UAV（ドローン）開発・応用、サイバーセキュリティ、Web 応用
Wireless and Automation Laboratory
2030 年に向けてのデザイン・エンジニアリング～「FAB」から「錬品工房（Archemic Fabrication Studio）」へ～

欲張りな人ほど得をする

大切な教養やスキルを体得する基盤科目と、未来への歩みを進める先端科目。2018 年度春学期開講科目一覧（2018 年 2 月現在）

基盤科目

総合講座	
総合政策学	
環境情報学	
言語コミュニケーション	
言語によってレベル分け、海外研修などがあります	
英語	
朝鮮語	
中国語	
マレー・インドネシア語	
アラビア語	
ドイツ語	
フランス語	
スペイン語	
日本語	
ロシア語	
イタリア語	
データサイエンス	
統計基礎	
確率	
微分・積分	
線形代数	
経済・ファイナンスのデータサイエンス	
情報と社会のデータサイエンス	
ビジネスのデータサイエンス	
医療・健康のデータサイエンス	
環境ガバナンスのデータサイエンス	
生命動態のデータサイエンス	
スポーツのデータサイエンス	
国際社会のデータサイエンス	
認知科学のデータサイエンス	
問題発見・解決のための数学リテラシー	
統計解析	
ベイズ統計	
数理モデル	
最適化の数理	
生命科学実験の基礎	
情報技術基礎	
情報基礎 1・2	
システムプログラミング基礎	
オブジェクト指向プログラミング基礎	
スクリプト言語プログラミング基礎	
ウェルネス	
心身ウェルネス	
体育 1	
体育 2 ～ 5	
- アーチェリー	
- アドベンチャーラーニング	
- クラシックバレエ	
- こころのエクササイズ	
- ゴルフ	
- ジョギング	
- スカッシュ	
- スポーツ鬼ごっこ	
- ソフトコース	
- ソフトボール	
- ダンスコンディショニング	
- テニス	
- トレーニング	
- バスケットボール	
- バドミントン	
財務・ビジネスプラン構築技法	
ソーシャルビジネスプランニング	
経営戦略	
組織戦略（組織行動）	
マーケティング戦略	
パブリックリレーションズ戦略	
戦略的交渉論	
組織コミュニケーション	
リスクマネジメント	
コンサルティング技法	
プレゼンテーション技法	
アカデミックプレゼンテーション実践	
アカデミックライティング	
ビジュアライゼーション	
出版編集技術	
契約ワークショップ	
立法ワークショップ	
立法技術論	
政策法務論	
金融経済ゲーミング	
ゲーム理論	
組織経営の会計	
企業会計論	
経営分析	
仕事と社会	
キャリア開発論	
ライフキャリア論	
プロフェッショナルエシックス	
意思決定能力の開発	
非営利組織インターンシップ	
社会起業インターンシップ	
生活者の社会参加	
パターンランゲージ	
デザインスタディーズ	
建築生産とデザイン	
コンピュータミュージック 1・2	
ソフトウェア工学	
プログラミング方法論	
モノ創り実験工房	
電子工作	
プロダクトデザイン基礎	
デザイン観察基礎	
情報デザイン基礎	
ミュージアムデザイン基礎	
アルゴリズムミックデザイン	
デジタルメディアと映像表現	
ファッションデザイン	
デザインリサーチ	
デジタルサウンドコンポジション 1	
質的調査法	
フィールドワーク法	
データ獲得法	
資料検索法	
論理学	
創造社会論	
創造システム理論	
方法論探究	
サブカルチャーと社会認識	
日本研究概論 1	
日本の近現代	
法律学	
イスラームと現代社会	
脳と行動	
感覚の生理と心理	
パーソナリティ発達論	
プログラミング言語総合講座	
NPO の設立と経営	
ベンチャー経営論	

ソフトウェアアーキテクチャ
データベース概論
Web デザインとマネジメント
Web テキスト処理法
情報数学
認知学習論
第二言語習得論
人工知能論
生命システム
生命現象と現実社会の比較論
ヘルスリサーチの基礎
代謝の基礎生物学
人体の構造と機能
人体の健康と病理
バイオシミュレーション 1
基礎分子生物学 1 ～ 4
日本の行政機構
パーソナルブレイスデザイン
マッピングイメージデザイン
イスラーム世界入門
基礎バイオインフォマティクス
トップスポーツ論
和声学 1・2
作曲法 1・2
第二言語習得と外国語教育入門
音楽と文化
日本の諸音楽
世界史のなかの日本
企業経営

先端科目

総合政策系
古典と現在
近代史
近代思想の世界
現代思想の世界
文学の世界
歴史と文明
社会起業論
パブリックマネジメント
社会保障政策（医療・介護 / 年金・労働・福祉）
社会安全政策（治安 / 防災）
現代社会理論
社会構造分析
社会関係分析
ネットワーク政策
ネットワーク文化
マスコミュニケーション
消費とライフスタイル
リスク社会の制度設計
都市システム論
地域計画実践論
まちづくり論
都市計画とまちづくり
社会的組織の経営（ヘルスケア / ミュージアム / スポーツビジネス）
ソーシャルマーケティング
コミュニティインベストメント
パブリックガバナンス
非営利・公会計論
コーポレートガバナンス
情報技術とマーケティング
プログラミング言語総合講座
ネットワーク社会論
表象文化論

文化政策
科学技術政策
環境政策
企業の社会的責任と社会・経済の活性化
地域医療システム
エビデンスに基づく健康政策とコミュニケーション
現代政治論
地方自治論
憲法（人権 / 統治）
企業法（会社法 / ベンチャー関連法）
刑法
行政法
情報法
ミクロ経済 1・2
マクロ経済 1・2
計量経済学
現代金融論
政策立案論
政策過程論
地方政府動態論
行政法演習
民法演習
企業法演習
知的財産権論
公共選択論
財政政策（国家 / 地方政府）
経済分析演習
ファイナンス論
リスクと保険
国際関係論
国際政治経済論
外交と戦略
安全保障と国際紛争
国際機構論
国際開発論
国際環境論
国際金融論
国際企業論
国際法
国際コミュニケーション
日本研究概論 2
アジアワークショップ
地域と社会（アジア・大洋州 / 欧州・CIS/ 米州）
地域と文化（アジア・大洋州 / 欧州・CIS/ 米州）
宗教と現代社会
言語とヒューマニティ
言語論（ドイツ語圏 / フランス語圏）
国際協力政策
地球環境政策
安全保障政策
安全保障政策
地域論（フランス語圏）
アジア・大洋州地域論
韓国地域論
インドネシア地域論
社会論（ドイツ語圏）
韓国社会論
マレー社会論 2
開発とローカリズム
持続可能システム論
メディア論（ドイツ語圏）
芸術文化論（フランス語圏）
現代文化探究（朝鮮語圏）
インドネシア文化論
文化論（ドイツ語圏 / 中国語圏）
多文化社会論

国民国家とナショナリズム
比較体制論
日独社会研究（ドイツ語圏）
言語教育実践論（中国語圏）
言語動態論
応用臨床心理
政治哲学（近代 / 現代）
国家と防衛
多国籍経営論
民法（総則・物権 / 債権 / 親族・相続）
地域と文化（スペイン語圏）
地域と社会（中東）
アイヌの言語と文化

環境情報系
現代技術と社会
都市と環境
デザインと情報技術
エコロジカルデザイン
エネルギー環境論
生態学フィールド調査法
地球環境概論
ランドスケープエコロジー
環境センシング論
環境リスク科学
環境保全計画論
環境対応プラクティス
エコシステム評価論
自然環境論
地球システム設計論
デザインスタジオ（住まいと環境 / 自然と建築 / 都市と建築）
建築設計と環境デザイン
建築構法論
アーバンルーラルリデザイン
スポーツコミュニケーション
スポーツ科学
認知科学ワークショップ
構成的認知論
インプレッションマネジメント
認知心理学
応用認知科学
脳情報科学
言語と思考
遺伝子工学実習
遺伝子解析実習
基礎分析化学
基礎生化学
分子健康科学ワークショップ
分子栄養学と健康
細胞レベルの生命科学による革新
医食農同源社会の実現
東西医療の融合
バイオシミュレーション 2
イメージと精神分析
身体運動解析
スポーツエンジニアリング
スポーツバイオメカニクス
心的環境論
知覚運動スキル論
ヒューマンセンタードデザイン
質量分析
生命分子構造
生命分子機能
プロテオミクス
ゲノム分子生物学 1・2
メタボロミクス
メタボローム解析実習

プロテオーム解析実習
メディアの変遷と未来
ヒューリスティックコンピューティング
システムプログラミング
スマートデバイスプログラミング
関数型プログラミング
デザインとプログラミング
グラフィックスプログラミング
空間分析
データベース構築法
IT政策と技術
環境エネルギー情報論
量子情報処理
コンピュータアーキテクチャ
オペレーティングシステム
大規模データ処理法
インターネットの設計と運用
情報通信セキュリティとプライバシー
情報と倫理
知識処理論
パターン情報論
インタフェース設計論
ユーザビリティ評価論
モバイルネットワーク論
ユビキタスサービス論
情報セキュリティマネジメント
Web 情報システム構成法
組み込みシステム構成法
プログラミング言語論
ユビキタスサービス論
情報セキュリティマネジメント
Web 情報システム構成法
組み込みシステム構成法
プログラミング言語論
自然環境論
地球システム設計論
デザインスタジオ（住まいと環境 / 自然と建築 / 都市と建築）
建築設計と環境デザイン
建築構法論
アーバンルーラルリデザイン
スポーツコミュニケーション
スポーツ科学
認知科学ワークショップ
構成的認知論
インプレッションマネジメント
認知心理学
応用認知科学
脳情報科学
言語と思考
遺伝子工学実習
遺伝子解析実習
基礎分析化学
基礎生化学
分子健康科学ワークショップ
分子栄養学と健康
細胞レベルの生命科学による革新
医食農同源社会の実現
東西医療の融合
バイオシミュレーション 2
イメージと精神分析
身体運動解析
スポーツエンジニアリング
スポーツバイオメカニクス
心的環境論
知覚運動スキル論
ヒューマンセンタードデザイン
質量分析
生命分子構造
生命分子機能
プロテオミクス
ゲノム分子生物学 1・2
メタボロミクス
メタボローム解析実習

電池社会
リーダーシップ開発のためのコーチング
エクスペリエンス・アンド・エンゲージメント・デザイン
ASEAN フィールドワーク A・B
国内フィールドワーク A・B
デザイン思考と競争戦略
スチューデントビルドキャンパス (SBC)（実践 / 入門）
スチューデントビルドキャンパス (SBC) 実践（建築 A・B）
データ・ドリブン社会の創発と戦略
データビジネス創造
人間工学デザインとテクノロジー
機械と材料工学
アジアの人流・物流ネットワーク基盤整備
人工知能と政策論
セキュリティ総論D
PBL 演習K
先進 PBL 演習F
働くこととジェンダー
労働法
日本とアフリカのグローバルコネクション（持続可能な協働の実現のプロセスの探求）
事業創造入門 2
ドローン未来社会論
出版の未来
コーポレート・アクセラレーターとコーポレートベンチャーキャピタルの役割
食を取り巻く社会課題とイノベーション
ソフトウェア技術を利用した創造的サービ
ス構築論（基礎）
データドリブンアート
労働政策
マンガ
ビヨンドブロックチェーン
ランニングデザイン

教職課程教科に関する科目
日本史概説
世界史概説
このほかにも、他学部の設置科目や他大学との単位互換、連携している科目などがあります。

自分の学びを深める

最先端の研究環境。
恵まれた留学制度や国際環境。
奨学金や助成金のサポート。
ライフワークとの共存。
目標を後押しする諸制度で、
自分の学びを深めましょう。



岩崎由香
慶應義塾大学医学部分子生物学教室
専任講師
環境情報学部 2006 年卒業、
政策・メディア研究科修士課程 2008
年修了、同博士課程 2011 年修了

「たくさんの方々との
コラボレーションから
問題発見と解決の面白さを学びました」

発見を積み重ね 医学の研究者に

SFC を志望したきっかけは、パンフレットに載っていた富田勝教授の記事。コンピューターと生物を組み合わせた新しいサイエンスの世界に飛び込みたいと思いました。
学部 1 年次の秋から先端生命科学研究会に所属し、2 年生の秋から鶴岡タウンキャンパス (TTCK) を拠点とするバイオキャンプへ。実習は「基本的に自分で考えて進めてください」というス

タイル。失敗や試行錯誤も多い分、大きな経験となり、実習で学んだことが研究に結びつくことを実感できます。また、情報処理（プログラミング）や語学の授業が充実していたことも役に立ちました。
私は現在もアカデミアで研究を続けていますが、研究を進める上では、主体性やさまざまな人とのチームワークがとても大切だと思う場面が多くあります。学部生時代に、それまで研究会で誰も取り組んでいなかったテーマである「小さな RNA のはたらき」に興味を持ち研究をスタートさせ、学会や国際論文誌で研究発表を行う機会に恵ま

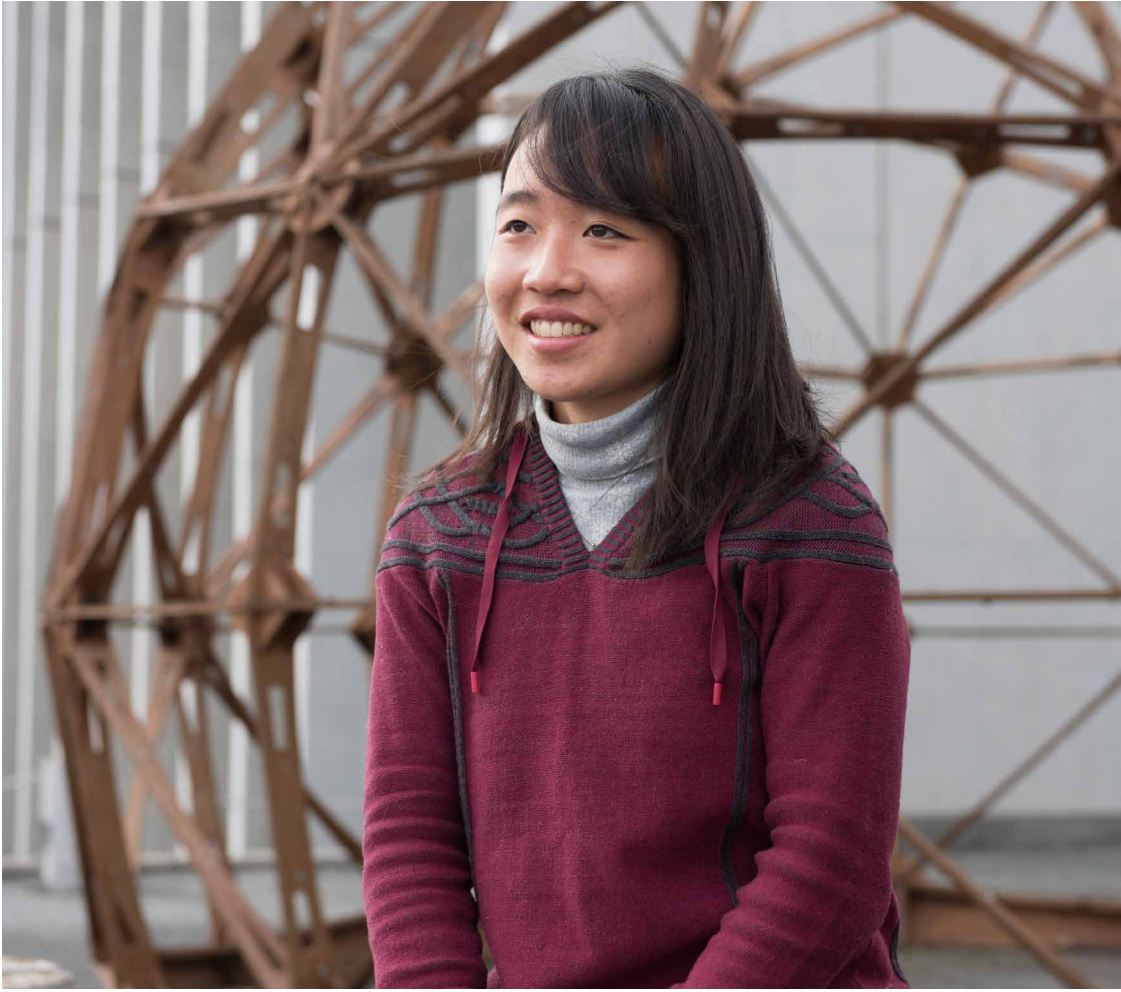
れました。また、博士課程ではドイツの研究所に留学し、研究を進めました。この過程で、小さな発見の積み重ねやたくさんの方々とのコラボレーションから問題発見と解決の面白さを学んだことが今に生きていると感じます。富田教授は「サイエンスは究極の遊びだ」が口癖。基本的なことですが、楽しく研究を進めているという点が富田教授をはじめとした先端生命科学研究会に所属する先生方の大きな魅力の一つだと思います。私自身も SFC での学びを大切にしながら、魅力的な研究者を目指して努力しています。

川那子進太郎
総合政策学部 4 年
ACS Hillingdon International School
(英国)

佐藤智奈津
総合政策学部 1 年
玉川学園高等部 (東京都)

GIGAの授業で国際的な学びを実践

日本生まれの日本人ですが、幼少時にアメリカで生活した経験から英語を身につけました。日本に帰国後も英語への興味は持ち続け、英語力を伸ばして生かせる環境の大学を探していました。日本の学校では、アメリカと異なる日本文化に違和感を覚えることもありました。私のような「サードカルチャーキッズ (TCK)」は、大学で研究対象にしたい分野でもあります。SFC はこのようなマイナーな分野でも勉強できる環境があると考えて志望しました。SFC では英語が飛び交っていて、帰国生も周りとなじんで生活しています。想像以上に国際色が豊かで、さまざまなことを吸収できる環境です。英語だけで履修・卒業できる GIGA (Global Information and Governance Academic) プログラム生として入学した訳ではありませんが、英語によるプログラム修了を証明する GIGA サティフィケートを申請しました。ほかにも英語で行われる授業で海外の学生とネットにつながる授業を積極的に履修することで英語のレベルアップを図っています。



日常生活では不足のない英語力でも、授業でのプレゼンテーションやレポート、ディスカッションで言いたいことが表現できないことにもどかしさを感じることもよくあります。留学の希望もある一方で、SFC の GIGA の授業で英語のスキルを伸ばし、そのサティフィケートを取得することで、私の英語力の指標の一つにしたいと考えています。自分の選択次第で、国際的な学習環境が作れるのも SFC の魅力です。

「想像以上に国際色が豊かで、さまざまなことを吸収できる環境です」



助成金を獲得してロボットの感情表現を研究

ロボットの社会進出が進む中、個々のロボットに独自の個性が希薄なのはなぜだろう。そんな疑問から、ロボットの性格や人格の表現について研究を始めました。研究の目標は、人間とロボットが自然に楽しくコミュニケーションできるようにすること。ユーザの応答履歴から感情表現を変えるロボットの反応を見るうち、ユーザがロボットの性格を理解して愛着が湧くようにコミュニケーションできたら楽しくなるはず。山岸学生プロジェクト支援制度からの助成金のおかげで、実験やデモの質が大幅に上がりました。制約が減って、自由に研究を進めることができた実感があります。選考基準は、研究の意外性や新奇性ではなく、どれだけ世の中の役に立つかということ。助成金を獲得すると、研究内容を学会で発表したり、プログラムを実装した製品を公開したりといった外部へのアウトプットによって成果を公表する義務があります。SFC の場合は、産業界にも注目される恒例の Open

Research Forum (ORF) が格好の機会となります。研究を進め、学会などでさまざまな意見をいただいたのも助成金のおかげ。たくさんのフィードバックをいただき、新しい課題も発見しながら企業からの熱い視線も感じています。やるべきことはたくさん残されているので、さらに精密な感情表現ができるように研究を続けていきます。

「研究を進め、学会などでさまざまな意見をいただいたのも助成金のおかげ」



上野碧葉
環境情報学部 1 年
玉川学園高等部（東京都）

メンター三田会のサポート で学業に専念

SFC を志望した理由の一つは、1 年次から本格的な研究ができること。学年を問わず門戸が開かれた研究会制度のおかげです。また経営、疫学、デザイン、プログラミング、まちづくり、ヘルスサイエンスなど、研究の成果を実社会へ還元するための幅広い分野を学べることに魅力を感じました。

慶應義塾大学では、給付型奨学金から無利子の貸与型奨学金まで、奨学金の種類が充実しています。多くの制度から検討することができ、申請書類の提出も窓口で丁寧にサポートして下さいます。私は、合格後に送られてきた書類で、メンター三田会奨学金の存在を知り、応募しました。

現在は生物系の研究会に所属し、代謝系疾患と抗加齢について研究し、忙しい日々ですが、年度ごとに受給継続審査が行われる厳しさも学業のモチベーションになっています。

授業ではグループワークも多く、プロジェクトを中心とする実践的な授業を

通して幅広い知識が身につきます。実学的なアプローチで着実にステップアップしていく毎日です。悩みがあっても、共に考えてくれる人、そして前に進んでいける環境がここにはあります。これから SFC を志望するみなさんにも、自分の目標を諦めずに実現して欲しいと思います。

「慶應義塾大学では、
給付型奨学金から無
利子の貸与型奨学金
まで、奨学金の種類
が充実しています」



2 度の休学から自分らしい キャリアを形成

中学卒業時の夢は脚本家が役者。高校時代には社会との関わりを強く志向するようになりました。SFC の第一印象は、学び方、コンセプト、プロセス、解決法が他大学とまったく異なること。幅広い専門分野があるので「ここに来れば何でもできる」と直感しました。松井孝治研究会と曽根泰教研究会で政治のプロセスに触れ、政策デザインワークショップで政策の作り方も学び、2014 年の 9 月から鈴木寛研究会に入りました。2015 年の 9 月から 1 回目の休学をし、松井先生にご紹介いただいたシンクタンクに学生職員として勤務し、キャンパスを離れて貴重な経験をしました。

復学してさまざまなプロジェクトを経験するうち、教育に関心が傾いてきた

ことから、2 度目の休学に入って鹿児島県長島町に移住し、高校生向けのプログラムを運営しました。その直前にはシアトルにも短期留学し、本当の「自分らしさ」

を自覚できるようになりました。

SFC の魅力は、自分を焦らせてくれるすごい人達が身近にたくさんいること。キャンパスで「最近何しているの?」という挨拶からプロジェクトが生まれることもあります。

現在の研究テーマは「一人一人の価値観に素直になれる社会を作ること」。自らプロジェクトを立ち上げ、仲間と試行錯誤の中で学んでいけるのが SFC の醍醐味です。

間瀬海太
総合政策学部 3 年
神奈川総合高等学校（神奈川県）

多様な文化や意識を 体感した留学生活

パリ政治学院に 1 年間留学してきました。以前から留学するなら英語圏以外の国へ行こうと決めており、カリキュラムや所在地などを勘案して留学先を決めました。フランス語研究室の先生や先輩にも相談に乗っていただきました。滞在中は、ちょうどアメリカの大統領選挙やフランスの大統領選挙の成り行きをヨーロッパから目撃したことで、市民社会と政治との関わり方を肌で学びました。

現地社会の一員として生活することで、自分自身の心情の変化を観察することができたのも貴重な体験でした。宗教哲学、近代政治哲学、社会学に関する講義は卒業プロジェクトのフィールドワークに生かしています。学部を卒業したら、国内では学べない文化政策や

文化マネジメントを学びに、再びフランスへ留学したいという希望を持っています。

私が利用した交換留学制度は、ビザの申請もしやすく、さまざまな留学生向けプログラムやサポートのシステムを用意してくれます。慶應義塾大学には、ヨーロッパやアジアでトップクラスの大学が門戸を開いており、自分の目的に合った大学があるはず。留学準備は早いほうが有利です。

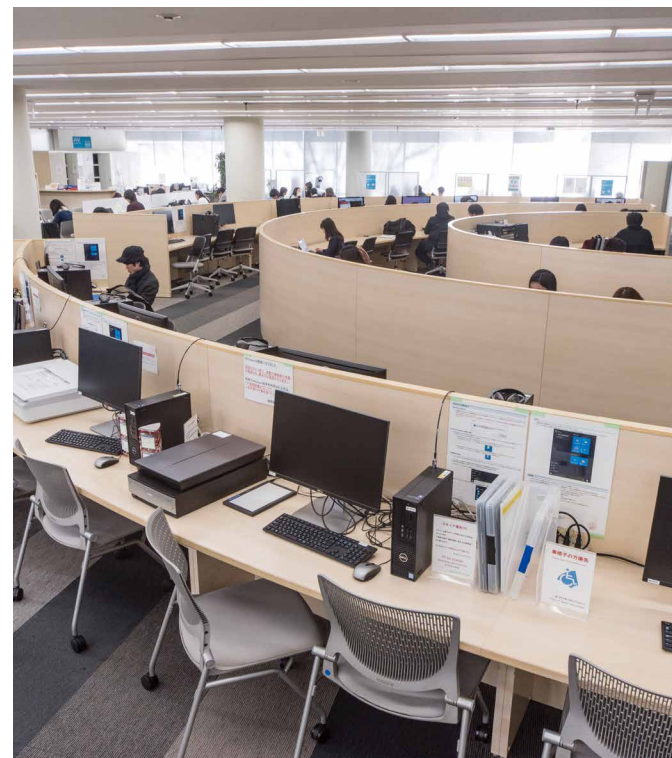
留学する動機は人それぞれですが、その動機をどこまで大きく育てるかは自分の意志の強さ次第。何事も前向きに取り組めば、きっと道は開けるでしょう。

酒井幾代
総合政策学部 4 年
神戸国際高等学校（兵庫県）



ここがすごい！キャンパスを探検

SFC では、学部生から大学院生まで同じキャンパスで学んでいます。近代的なデザインの建物と大自然が調和したユニークなキャンパスには、先進的な研究やコミュニケーションを支える充実したインフラが完備されています。



デジタルコンテンツも制作できる 湘南藤沢メディアセンター

「“ 見つける・考える・生み出す ” を支援する」をコンセプトに、キャンパスの研究・教育・学習活動を支える先進的な図書館。問題発見・解決型キャンパスの特色を反映した実務的で領域横断的な蔵書や、インターネット経由で自宅からでも利用できるデータベースや電子ジャーナル、電子ブックなど、豊富な資料を活用したサービスを提供しています。大きな特徴は、グループ学習室、音響・撮影スタジオ等の施設、4K ビデオカメラ等の AV 機器、映像・音楽編集用の PC、ものづくりのための「ファブスペース」を利用できること。機器の貸し出しや操作、データベースの活用、論文の書き方などについて、学生コンサルタントに気軽に相談できます。

www.sfc.lib.keio.ac.jp



夢をかたちにするファブキャンパス

SFC にはさまざまなものづくりの施設が存在し、用途に応じて幅広い施設を選択することができます。多彩なファブリケーション機器を「入門ファブ」「発展ファブ」「大型ファブ」のレイヤーに整理してキャンパス内に分散配置し、「つくる」「つかう」「こわす」「もどす」「わかる」の 5 サイクルを独自開発の ICT システムで運用。キャンパス全体をスマートな「循環型」ファブリケーションの実験場として推進しています。

- メディアセンター：ファブスペース（3D プリンタ、レーザーカッター、デジタル刺繍ミシンなど）
- ゼータ館：DFF-M（金工の工作施設）
- オミクロン館：建築・IoT デバイス（電子工作・ロボット）、各種アトリエなど
- 未来創造塾 EAST 街区：DFF-W（木工の工作施設）

fabcampus.sfc.keio.ac.jp



鶴岡から世界へ - イノベーションを起こす 先端生命科学研究所

先端生命科学研究所 (IAB) は、2001 年 4 月に慶應義塾大学鶴岡タウンキャンパス (TTCK) 内に設置されたバイオの研究所で、IT を駆使した「統合システムバイオロジー」という新しい生命科学のパラダイムの確立を目指し研究を行っています。唾液でがんを発見する技術開発、がん細胞の代謝研究、農作物のメタボローム研究など、独創的な研究を数多く行い、世界で初めてクモの糸を人工的に量産することに成功し話題となった Spiber 株式会社も先端生命科学研究所発のベンチャーとして、世界中から注目されています。

在学生を対象としたプログラムでは、1～2 学期間 TTCK に滞在し、最先端の実験機器を実際に使いながら生命科学の基礎を学ぶ「バイオキャンプ」などを開講しています。また、全国の高校生が集い生命科学に関する日頃の研究成果を発表する研究コンテスト「高校生バイオサミット」や、海洋研究開発機構 (JAMSTEC)、東京工業大学などから専門家を招いて宇宙生物学を学ぶ「Keio Astrobiology Camp」も開催されています。

www.iab.keio.ac.jp



未来創造塾 Student-Build Campus (SBC)

慶應義塾のグローバルゲートウェイとして、学生や教員、研究者が寝食を共にしながら学業や研究に打ち込むための滞在型教育研究施設です。海外からの留学生や研究者、多様な分野の教員や学生が合宿生活を送りながら交流、議論し、地球規模の課題に取り組みます。現在、EAST 街区で最大 32 名が滞在できる滞在棟 1 が運用されており、2017 年には 40 名が滞在できる滞在棟 2 が竣工しました。SFC の学生・教員・職員が一丸となって、この未来創造塾の滞在型教育研究施設を作るプロジェクトが Student-Build Campus (SBC) です。SBC に関連する授業も開講されており、ソフト・ハード両面の設計、実装に学生が主体的に参加しています。「大学の未来とは何か」。この問いに対してここに関わる一人一人がそれぞれの理想を追い求め、このキャンパスを共創していきます。



モダンで周囲の自然に恵まれたキャンパス
SFCのモダンで落ち着いたキャンパスを設計したのは、日本を代表するモダニズム建築家の横文彦氏。日本の歴史的な学舎でもあった禅寺をモチーフにしたスタイリッシュなデザインです。四季を通して、湘南の自然が間近に感じられる環境がSFCキャンパスの自慢です。

「ガリバー池」(鴨池) でカモる

学生の間では「鴨池」という名で親しまれている「ガリバー池」。休み時間や昼下がり、池のほとりでくつろぐことを「カモる」といいます。

学びの拠点となる研究・講義室棟

少人数の授業が行われるκ・ε・ι・ο・λの5つの研究・講義室棟は学生と教員が日常的にコミュニケーションを図ることを目的に設計、配置されています。専任教員の個人研究室、各専門分野の共同研究室もあり、各研究会に所属する学生の多くが研究の拠点としています。24時間キャンパスであるSFCでは学生が昼夜を問わず課題や研究に取り組み、明かりが消えることはありません。

授業以外にもフル活用できる体育館とジム

1階はウェイトトレーニング(マシン、フリーウェイト、エアロバイク)を主体とした各トレーニング場のほか、柔道場、剣道場などを完備。2階にはアリーナ(バレーボール、バスケットボール、バドミントン、フットサル)とフィットネスルーム(ダンス、卓球)。シャワー室も整っており、心身のリフレッシュに最適です。



環境負荷の低い暮らしを目指す

「コエボハウス」
慶應型共進化住宅 Keio Co-Evolving House、通称「コエボハウス」。実際の生活における環境性能実験データを取得・分析することにより、環境負荷低減に貢献する住宅技術の開発実証実験を実施しています。神奈川県が取り組んでいる「未病の見える化」をコンセプトとした「ME-BYOハウス・ラボ」プロジェクトとも研究協力を行っています。

看護医療学部

大学院健康マネジメント研究科

SFCの北側に校舎があり、無料のシャトルバス「鴨池急行 SoKanKan」がエリア間を運行しています。ヘルスサイエンスの分野など、学部・研究科横断的に教育・連携して研究が行われています。

慶應藤沢イノベーションビレッジ (SFC-IV)

独立行政法人中小企業基盤整備機構が、慶應義塾大学および地域と連携して運営する起業家育成施設です。SFCの地域内にあって、新事業の創出・起業に取り組む方々、特に大学発のシーズの事業化を支援しており、SFCの学生、卒業生、研究者の起業や創業活動もサポートしています。



オリジナルな道を歩もう

SFC 生は、「未来からの留学生」。就職、起業、NPO、パラレルキャリアなど、多彩なキャリアで未来を開拓する先輩を紹介します。



小島泰威
東日本旅客鉄道株式会社 国際事業本部
海外鉄道事業部門 課長
英国フランチャイズ グループリーダー
総合政策学部 1996 年卒業

社会や公共を民間の立場から担う

社会性や公共性を民間の立場から担いたいという思いで、1996 年から JR 東日本に勤務しています。2017 年 12 月、当社は英国で都市鉄道の事業運営を共同で落札しました。インフラ産業も今やグローバルな競争の時代。日本の強みを生かしつつ世界の潮流と融合して、さらなるグローバル展開を目指せるように努力しています。SFC では 3 期生。慶應義塾大学の各学部に加え、各界から集まった意欲的な教授陣に魅力を感じて入学しました。政策・戦略を学びながら、IT システムも学べる学際性も画期的。「実学」を基本に、現地や現物、実際の人や声を大切にすることを学びました。

SFC で印象に残っているのは、グループワークでの活発な議論や、ディベートで勝敗が決したときのどよめき。夜中にコンピュータ室に行くと必ず誰かがいました。総合政策学の講義で 1 コマもらって、プレゼンをしたのもいい思い出です。SFC は、型にはめるキャンパスではありません。**問いは常に形を変え、答えはいつも同じとは限らないのが SFC の学び方です。**何度も聞かされたのは「君達は未来からの留学生だ」という言葉。未来から来たつもりで学び、その未来へと帰っていくという発想は、社会に出てからも大切にしています。

実体験を生かして小児医療に貢献

自分自身がこどもの頃に長期療養生活を送ったことから、将来は小児医療に貢献したいと考えていました。SFC のオープンキャンパスを訪ね、「10 年以上先の未来を作る」というメッセージに感銘を受けて入学しました。大学時代から、米国認定チャイルド・ライフ・スペシャリスト (CLS) の資格を目指していました。そこで NPO 関連の授業も履修して、研究会では助成金も得ながらアメリカを横断。小児科医や CLS を訪ね歩いた経験が、今でも大きく役立っています。SFC は専門分野を追求しながら、同時に多角的な学びも得られる場所。ヘルスコミュニケーションを基軸に情報学なども幅広く学び、同じ SFC にある看護医療学部で小児医療の専門知識も体

得しました。現職は多職種との連携が大切になるため、グループワークの多い学際的な学びも理想的でした。一つの問題に、多様な副次的問題が関わってくる現代。SFC は幅広い視野で思考が育てられる場所です。海外の大学院でしか取得できない資格を目指して留学する際に、**SFC で多角的に学び、幅広く物事を思考できる力や探求できる力を育んだことが役に立ちました。**振り返ってみると、私は 10 年前に自分が思い描いた夢を実現することができました。ここからさらに大きな目標を見据え、次世代にも活動をつなげていきたいと考えています。



北野華子
特定非営利活動法人
Being ALIVE Japan 理事長
米国認定チャイルド・ライフ・スペシャリスト、米国認定セラピュティック・レクリエーションスペシャリスト
環境情報学部 2010 年卒業



正能茉優
ハビキラ FACTORY 代表取締役社長
ソニー株式会社新商品開発・企画担当
総合政策学部 2014 年卒業

「最近どう？」 「会社つくった！」

新しいことを始めようと思ったとき、必要なのは自分と異なる得意分野を持った同世代の仲間達。デザインやマーケティングはもちろん、歌や囲碁まで何でも学べる SFC にはさまざまな好きなこと、得意なことをを持った人達が集います。学食やバス停で交わす「最近どう？」という挨拶が、新しい分野への関心を育てました。「会社つくった！」と答える人も SFC では珍しくありません。在学中に創立したハビキラ FACTORY を経営しながら、企業にも勤めている私の仕事観は「ビュッフェキャリア」。ホテルのビュッフェのように、好きなことを、好きなバランスで、好きなだけやるのが幸せの基本です。カレーもパスタも食べたいなら、両方とも楽しむのが自然。働き方や生き方も、そんなふうに考えていいはず。やってみたいと思ったら、実行してこそ意味があります。リスクが少ない学生のうちに、思い切りチャレンジできる環境が SFC の大きな魅力です。

山本峰華
ハビキラ FACTORY 取締役副社長
株式会社リクルートキャリア
総合政策学部 2013 年卒業

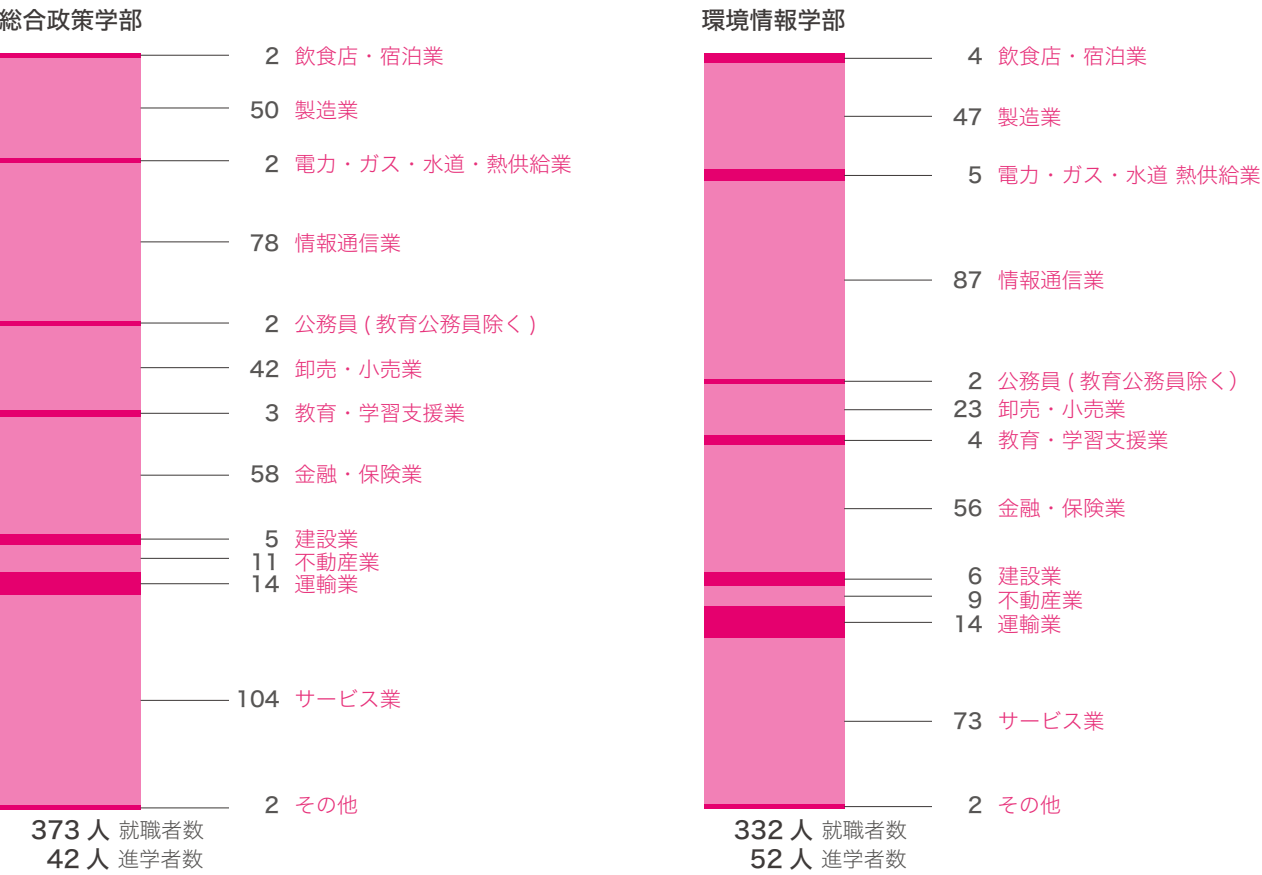


毎日を楽しく、 自由に生きる

以前から「誰かの人生の大事な局面で、行動を促すことができる人になりたい」という目標を持っていました。在学中にハビキラ FACTORY を創立したのも、リクルートキャリアに就職したのも同様の理由からです。ハビキラ FACTORY では、ビジネスモデルを構築し、具体的な運用やスケジュールを考えるのが私の役割。リクルートキャリアでは 3 つの部署を兼務してマルチタスクをこなしています。勉強だけでなく実践までを重視する SFC は、行動しながら学ぶ自分にぴったりの環境でした。面白い仲間恵まれ、幅広い分野を学び、多方向から自分の研究や進路について考えることができました。仕事を始めるとわかることだと思いますが、すべての企画は多彩な分野の組み合わせ。ユニークな企画を生み出す力は、SFC だからこそ学べたスキルです。新しい働き方を切り拓く人にとっても、SFC は間違いなく最高の環境です。

多業種で活躍する卒業生

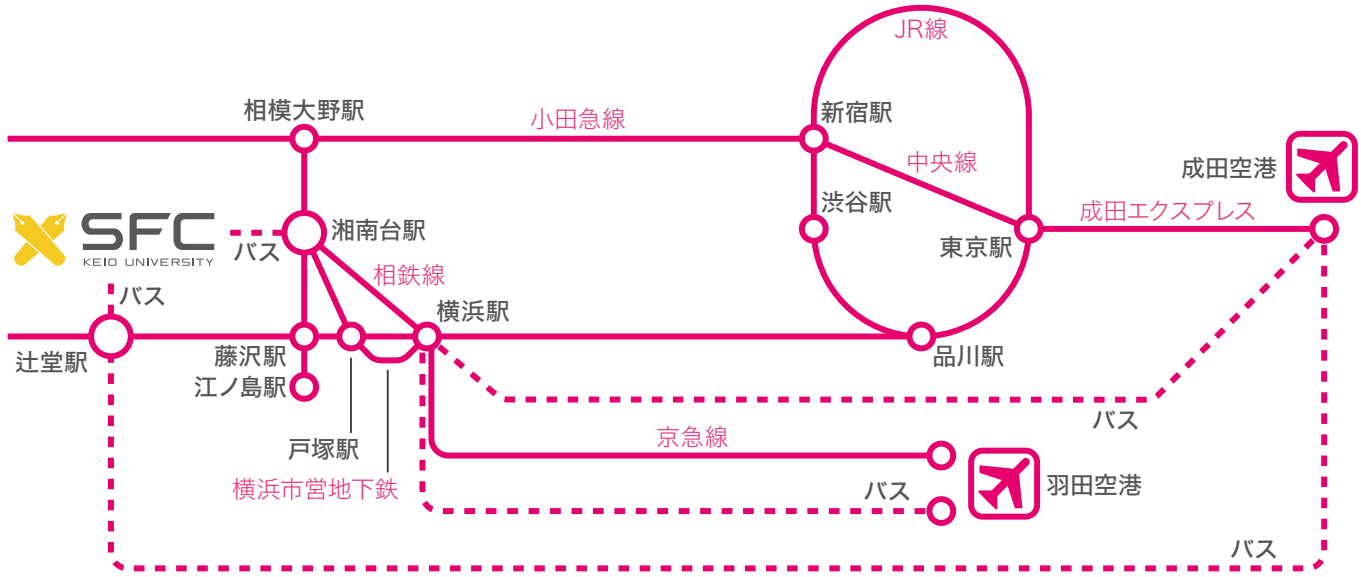
問題発見・解決能力に優れた SFC の卒業生は、活躍するフィールドも極めて多彩。あらゆる業種の一流企業が就職先として選ばれています。



上位就職先		上位就職先	
電通	味の素	みずほフィナンシャルグループ	Cygames
みずほフィナンシャルグループ	インテリジェンス	ソフトバンク	サッポロビール
三菱東京UFJ銀行	SMBC日興証券	アクセンチュア	全日本空輸
アクセンチュア	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ	日本アイ・ピー・エム	損害保険ジャパン日本興亜
リクルートキャリア	キーエンス	日本放送協会	第一生命保険
住友商事	コーセー	博報堂	電通デック
デロイトトーマツコンサルティング	国際協力機構	三井住友海上火災保険	東京急行電鉄
シンプレクス	七十七銀行	サイバーエージェント	凸版印刷
ソフトバンク	ジョンソン・エンド・ジョンソン	電通	日本航空
日本アイ・ピー・エム	セールスフォース・ドットコム	東京海上日動火災保険	日本たばこ産業
博報堂	損害保険ジャパン日本興亜	三井住友信託銀行	博報堂DYデジタル
ワークスアプリケーションズ	テレビ東京	三井物産	富士ソフト
アビームコンサルティング	東京急行電鉄	ヤフー	ベクトル
サイバーエージェント	トヨタ自動車	リクルートキャリア	三井住友銀行
セブテーニ・ホールディングス	日本オラクル	ワークスアプリケーションズ	三菱東京UFJ銀行
全日本空輸	日本放送協会	インテリジェンス	ゆうちょ銀行
大和証券	日本マイクロソフト	SMBC日興証券	りそなグループ
ティール・エヌ・エー	野村證券	キーエンス	
東京海上日動火災保険	博報堂DYデジタル	東京瓦斯	
日本航空	日立製作所	三井不動産リアルティ	
博報堂DYメディアパートナーズ	三井不動産レジデンシャル	楽天	
丸紅	三越伊勢丹	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ	
三井住友銀行	三菱商事	キャノン	
三井物産	明治安田生命保険	グーグル	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券	横浜銀行	ゴールドマン・サックス証券	
あいおいニッセイ同和損害保険	リクルート住まいカンパニー	コロブラ	

2016 年度実績
2017 年 4 月 30 日現在、本人からの進路届による

主要駅からのアクセス



- 東京駅から
- JR東海道線 戸塚 横浜市営地下鉄ブルーライン 湘南台 (約50分)
JR東海道線 辻堂 (約50分)
- 新宿駅から
- 小田急線・急行 湘南台 (約50分)
- 横浜駅から
- 横浜市営地下鉄ブルーライン 湘南台 (約40分)
相鉄線 湘南台 (約30分)
JR東海道線 戸塚 横浜市営地下鉄ブルーライン 湘南台 (約30分)

湘南台駅から
バスをご利用の場合 湘南台駅西口B出口から地上に上がり、1番バス乗り場から神奈中バス「湘23系統慶応大学」「湘24系統笹久保経由慶応大学」「湘25系統急行・慶応大学」行きに乗り、「慶応大学」「慶応大学本館前」まで約15～20分。
※休日は「慶応大学」が終点です。
湘南台駅からは通常バスの約2倍の輸送力を持つ連節バス「ツインライナー」も定期的に運行していますので、駅からのアクセスはとても便利です。

タクシーをご利用の場合 湘南台駅西口から所要時間は約10～15分、料金は約1,500～2,000円。

辻堂駅から
バスをご利用の場合 辻堂駅北口の3番バス乗り場から神奈中バス「辻34系統慶応大学」行きに乗り、「慶応大学」「慶応大学本館前」まで約25分。
※休日は「慶応大学」が終点です。

タクシーをご利用の場合 辻堂駅北口から所要時間は約20分～30分、料金は約3,000円。



お問い合わせ先

一般入試・帰国生入試・留学生入試

慶應義塾大学入学センター

一般入試 TEL: 03-5427-1566

帰国生・留学生入試 TEL: 03-5427-1611

www.admissions.keio.ac.jp/

AO入試・AOグローバル入試

慶應義塾大学湘南藤沢事務室

アドミッションズ・オフィス

TEL: 0466-49-3407

E-mail: ao-request@sfc.keio.ac.jp

www.sfc.keio.ac.jp/admissions/

見学をご希望の方

慶應義塾大学湘南藤沢事務室

総務(庶務)担当

E-mail: sfc-visiting@sfc.keio.ac.jp

発行: 2018年4月

制作: 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス

〒252-0882

神奈川県藤沢市遠藤5322